



御殿場

2013
御殿場市勢要覧



人口の増えるまち 御殿場へ



私たちのまち御殿場市は、麗峰富士と箱根山系の間に位置し、豊かな自然に恵まれた高原都市です。

本市は、市民が安全・安心のもと、希望と活力にあふれた輝かしい御殿場を創造するための政策を第三次御殿場市総合計画として定め、その将来都市像「緑きらきら、人いきいき、御殿場」の実現を目指して市民の皆様との協働によるまちづくりに取り組んでいます。

我が国の経済は、東日本大震災や原子力発電所事故により大きな打撃を受け今なお低迷を続けております。また、地域主権改革の進展により今後、ますます自治体の責務は大きくなることから、本市は、効率的な自治体経営を目指し、優先順位を見極めた上で、施策・事業を選択してまいります。

その中でも、経済の活性化、地域医療体制・子育て支援の充実、危機管理体制の強化を重点に各種施策を進め、人口の増えるまち御殿場を目指してまいります。

このたび作成しました2013年市勢要覧により、本市の現状と将来像をご理解いただき、更なる市勢進展にお力添えをいただければ幸いです。

御殿場市長 若林 洋平

Gotemba City is located in a highland of graceful Mount Fuji and Hakone Mountains and is surrounded by abundance of nature.

"Safety and Security" is the city's motto. The city is in its third stage of a major developmental phase, aiming toward creating a bright future filled with hope and vigor. All citizens are coming together to work toward building "Gotemba City - The city with glistening green nature and vibrant citizens."

Japan's economy continues to be stagnant after devastating East Japan Earthquake and the major nuclear power plant accident. In addition, a progress toward local governance will place more financial responsibilities on each local government. Therefore, the city will aim toward more efficient and productive management, carefully determining priority of measures and public projects.

Some of the city's priorities are; invigorating local economy, enhancing solid medical services and family support systems with young children and strengthening the city's crisis management systems. All of these are placed envisioning the city's population to increase. The city directory for year 2013 has been prepared for your information. Your understanding of the city's current situation and cooperation is indispensable to build toward the city's future.

Yohei Wakabayashi
Mayor, City of Gotemba

御殿場市勢要覧 目次
CONTENTS

富士山特集

「富士山を知っていますか」 3

主要政策

観光ハブ都市づくりを目指して 9

子どもを育むまちづくりを目指して 13

災害に強いまちづくりを目指して 15

総合計画

基本目標①
富士山のように大きな心を持つ人になろう 17・18

基本目標②
健康で安全・安心な生活を築こう 19・20

基本目標③
人と自然に優しいまちをつくろう 21・22

基本目標④
豊かで活力ある産業を育てよう 23・24

基本目標⑤
明るく元気の出る御殿場をつくろう 25

財産区 26

演習場 27

議会／姉妹都市 28

御殿場の歴史 29

資料編 33

御殿場市マップ 37

主な施設の問い合わせ先 38

市民憲章・市歌 39



富士山を 知っていますか

人を寄せつけない

孤高の山がありました

永い時間の旅を経て

山は 二つとない

美しい姿になりました

麓に住む私たちは

その恩恵を受けて生きています

御殿場というまちを産んだ富士山の
今と昔を知ってください



写真提供：滝口文夫

父なる火の山

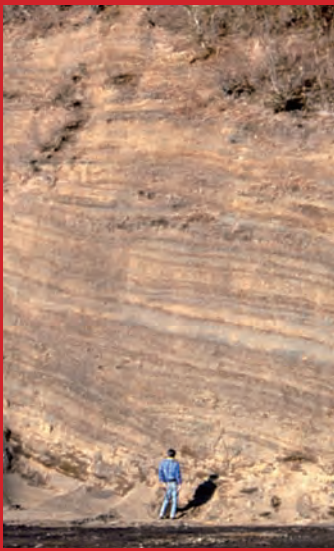
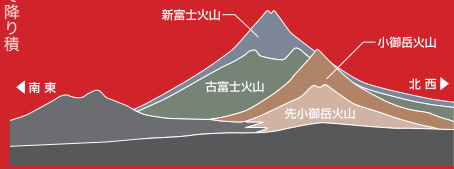
火と土の壮大な営み——。
くり返す噴火と崩壊が、美しい山の形を築き、その東麓には御殿場の土台となる、なだらかな高原や平地を生み出した。

富士山の構造

富士山の下には、地表に現れていない火山が隠されています。
10数万年前に噴火を終えた小御岳、約10万年前に噴火を始めた古富士とその上を覆う現在の新富士火山が知られていましたが、最近の掘削調査で小御岳火山の下にさらに古い火山「先小御岳」があることが分かりました。つまり富士山は、先小御岳、小御岳の二つの火山の上に、古富士と新富士が重なってできた四層構造の火山なのです。

上柴怒田の地層

この崖には初期の富士山（古富士火山）から噴出して降り積もった火山灰・火山礫が積み重なってできた地層を見ることができます。しま模様の一枚一枚が一回の大噴火に相当します。



歴史年表



古富士火山の活動

小御岳・先小御岳・愛鷹・箱根火山の活動

火の痕跡

きれいな円錐形をした富士山。しかし、四季を彩る雪や新緑の衣を取り除いてみると、美しい外観からは想像もできない、活火山としての膨大なエネルギーの痕跡が見えてきます。

噴火が作った様々なフォルム



幕岩

大砂走り

溶岩樹型

宝永の大噴火

江戸時代に起きた富士山最大級の噴火

1707年12月16日（宝永4年11月23日）午前10時ころ、富士山の南東斜面で爆発的な噴火が始まり、1708年1月1日（宝永4年12月9日）未明まで、16日間続きました。富士山としては約200年ぶりのこの噴火（宝永噴火）は、広い地域に大量の火山灰を降らせ、大きな被害をもたらしました。また、この噴火によって特大の火口（宝永火口）と宝永山が出現しました。噴出したマグマ量は約7億m³と推定され、有史以来の富士山の噴火のなかでも、平安時代（864/貞観6年）に西湖と精進湖を作った貞観噴火に次ぐ大規模な噴火と考えられています。

宝永の砂降りとその後の復興

宝永噴火は周辺地域に大きな被害をもたらしました。富士山東麓では、熱い状態で降下した大きな軽石が火災を引き起こしたり、スコリアが降り積もり、家や田畑を埋めつくしたりしたことが記録されています。特に北駿地域は壊滅的打撃を受け、須走村（現在の静岡県駿東郡小山町）では噴火による降砂の厚みが3mにおよんだといわれています。この後「宝永の砂降り」の被害を受けた村々が復興するには長い年月がかかりました。

富士山の文化

美しい山体とその風景。私たちの心の寄りどころとなり、古来信仰や文化の創造に大きく寄与している。

万葉集より

吾妹子に逢ふ縁を無み駿河なる
不尽の高嶺の燃えつつあらむ
（奈良時代・作者不明）



古沢一幣司浅間神社



上小林きやり地蔵



新橋浅間神社

水徳があり、火を鎮める力がある「木之花咲耶姫」を祀っている。

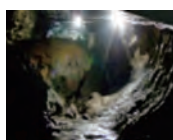
溶岩隧道

富士山の溶岩は、ねばり気の弱い「玄武岩」という岩石からできています。こうしたねばり気の弱い溶岩が流れる時にできる特徴的な構造に「溶岩トンネル」と「溶岩樹型」があります。

溶岩トンネルは、溶岩の外側だけが冷え固まった状態の時に、まだ溶けた状態の内部が下流へと流れ去ることによってできた空洞です。溶岩洞窟とも呼ばれ、富士山の山腹やふもとのあちこちで見られます。溶岩樹型は、溶岩流が森林を流れ下った時に、木の幹のまわりを取りまいてできる構造です。溶岩の熱によって木の幹は燃えて空洞だけが残ります。

駒門風穴

〔国指定天然記念物〕



駒門風穴は、約1万年前の噴火で流出した三島溶岩の中に形成された溶岩トンネルです。本洞と支洞にわかれ、本洞は243m、支洞は本洞との分岐点より105mの長さにつながっています。内部では、肋骨状溶岩や溶岩鍾乳石を見ることができま。

印野の熔岩隧道（御胎内）

〔国指定天然記念物〕



印野の熔岩隧道は、西暦5世紀頃に流れ出した印野丸尾溶岩流の中にできたもので、溶岩トンネルと溶岩樹型が組み合わさっています。1周68m。洞内では表面がまだ溶けていた状態の時に作られた肋骨状溶岩や溶岩鍾乳石を見ることができま。まるで人間のからだの中に入ったような特徴的な内部の形状から「御胎内」と呼ばれ、江戸時代を中心に富士山を霊場とする修験者や富士山講信者の信仰の場所になりました。入口付近には胎内神社があります。





雨を呼ぶ 富士山の笠雲

水母のなる山

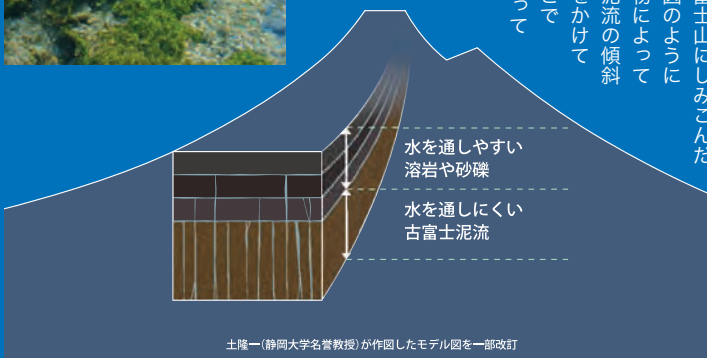
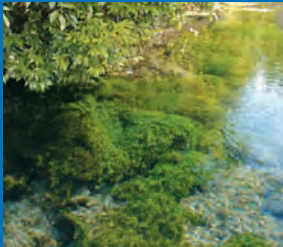
火の山の溶岩流が作り出した豊富な地下水。

様々な命を生み育て、私たちは限らない恩恵を受けている。

富士山・湧水のメカニズム

富士山の表層をおおっている新富士火山の噴出物は、よく水を透します。これに対し深層の古富士火山の表面にあたる古富士泥流は水を透しにくい性質があります。富士山にしみこんだ雨や雪どけ水は、図のように新富士火山の噴出物によって濾過され、古富士泥流の傾斜にそって長い年月をかけて流れていき、ふもとで「美味しい水」となって湧き出ます。

雨や雪どけ水は、図のように新富士火山の噴出物によって濾過され、古富士泥流の傾斜にそって長い年月をかけて流れていき、ふもとで「美味しい水」となって湧き出ます。



富士山が生んだ御殿場特有の気象

みくりやの私雨

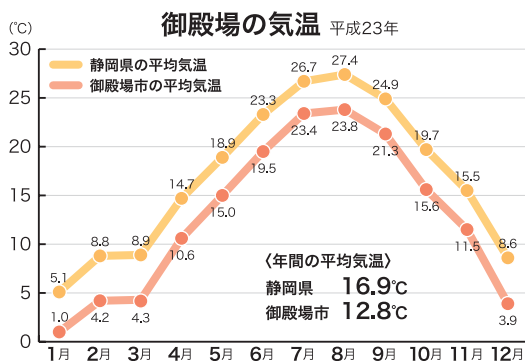
山々に囲まれた複雑な地形のため局地的な前線が発生し、他の地域は晴れているのに「みくりや(御殿場の古い呼び名)」だけが雨や雪、霧になることが多い。

御殿場の「夏」

標高が高いため、夏は涼しく、熱帯夜・猛暑日が観測されたことはない。梅雨の時期は雨や霧が多い。

御殿場の「冬」

冬は晴れの日が多いが、静岡県内の都市としては寒さが厳しく、大雪になりやすい。



水の恩恵

富士山をつくる溶岩や火山灰の中には無数の割れ目や空洞があり、降り注いだ雨や雪どけ水がこれらの空間を満たすことで、富士山全体が巨大な水がめとなっています。水は下方へと流れ続け、ふもとからこんこんと湧き出しています。富士山全体での湧水量は、毎日500万トンと言われています。このような湧水は、観光スポットとして人々を楽しませるだけでなく、飲料水や農業・工業用水として広く利用されています。



富士山から生まれた冷涼な気候が、豊かな実りを結びます。



デリケートなわさびは、冷たく清らかな水でなければ育つことができません。



ふるりの味「水かけ菜」は、稲を刈りとったあとの田んぼに、伏流水をひいて作ります。



豊富な伏流水から、様々な食品、飲料、農作物が生まれ育ちます。



やさしい天然のお湯も、自然からの贈り物です。



こんこんと湧き出る水は、私たちの暮らしの中にとけ込んでいます。



御殿場口から出発した富士山の気象観測にかけた夢

富士山の気象にまつわる人物の物語と御殿場との関わりをご紹介します。

雲と気流の研究に取り組んだ阿部正直



阿部正直博士は、1927（昭和2）年、御殿場市新橋に私財を投じて「阿部雲気流研究所」を設立し、以後19年間にわたって富士山と雲・気流の観測・研究を続け、日本の高層気象学に貢献しました。

1937（昭和12）年、中央気象台の委嘱観測所となったのを機に「雲気流参考館」（後に「阿部雲気流博物館」に改称）を増築し、研究成果を広く一般市民にも公開して普及に努めました。戦後、博士が御殿場を去ったからは訪



研究所は、やがて中央気象台の委嘱観測所となり、後に「博物館」として公開されました。博士の残した富士山と気流の研究は昭和41年、富士山で事故を起こしたBOAC旅客機事故の原因解明に活用されました。

れる人もなくなり、博士と研究所の成果は長く忘れられていましたが、1968（昭和43）年、研究所の観測機材や関係資料が御殿場市に寄託されました。

富士山頂冬季気象観測のはじめ野中到・千代子



高層気象観測の必要性を唱え、明治時代に初めて富士山頂での冬季観測に挑戦したのが野中・千代子夫妻でした。気圧は平地の約3分の2、気温マイナス15度以下となる冬の富士山頂。到は欧米の高山気象台の構造や越冬方法を研究し、中央気象台の協力を取り付け、御殿場を拠点として1895（明治28）年10月1日から12月21日まで、富士山頂剣ヶ峰の「野中小屋」で気象観測を行いました。

観測機器の故障や夫妻の健康問題などのため、3カ月足らずで下山となったものの、夫妻の挑戦は富士山頂冬季観測



冬季山頂観測への挑戦後、到は、1898（明治31）年頃から御殿場市中畑の山王塚に住み、1909（明治42）年、この地に富士登山者の休憩所と山頂との比較観測をするための施設を兼ねた「大麗閣」を新築、富士山頂での通年観測と高層気象学への夢を抱き続けました。現在大麗閣のあった場所は「野中山」と呼ばれ、野中夫妻を顕彰する記念碑が建てられています。

の可能性を示しました。

佐藤順一

野中到の意志を継ぎ、一度途切れた冬季山頂観測に再挑戦したのは筑波山観測所所長の佐藤順一でした。1927（昭和2）年、富士山頂に観測所を建て夏季気象観測を再開。1930（昭和5）年に昭和時代初の冬季観測に成功したこと

が国による富士山観測所開設へとつながりました。戦後1964（昭和39）年には山頂に富士山レーダーが建設され、世界に誇る台風予報と高層気象観測の拠点となりました。

藤村郁雄

佐藤順一の応援という形で富士山頂冬季気象観測に参加。1938（昭和13）年8月、富士山頂観測所の所長に就任。30年にわたり富士山測候所所長として重責を担いました。

この間、送電線敷設やレーダー建設など測候所設備の近代化に貢献したほか、富士山頂という特殊な条件下で用いる計測機器の開発にも尽力。暮、歌、俳句にも親しむ風流人でもあり、「富士山頂気象観測の歌」など山頂での観測生活をテーマにした作品を多く残しています。

藤原寛人（新田次郎）



1937（昭和12）年までの約5年間、臨時富士山観測所に勤務し山頂での観測生活を体験。ソ連での抑留生活を経て1946（昭和21）年に帰国後気象台に復帰。1951（昭和26）年「新田次郎」のペンネームで富士山測候所の強力なモデルにした小説「強力伝」を執筆。処女短編集「強力伝」で第34回直木賞を受賞。以後気象庁勤務のかたわら小説家としても活躍し、富士山レーダー建設の責任者として難事業の実現に尽力。1964（昭和39）年レーダー完成を見とどけ気象庁を退職。執筆活動に専念しました。

富士山関係の作品には、「強力伝」のほか、富士山レーダー建設をテーマにした「富士山頂」「野中到夫妻を扱った『芙蓉の人』、宝永噴火後の伊奈半左衛門忠順の苦闘を描いた『怒る富士』」などがあります。

観光ハブ都市づくり を目指して

観光ハブ都市とは
滞留観光の推進と
中継基地機能の強化

本市は首都圏に近く、富士箱根伊豆交流圏の中心に位置し、東名・新東名・国道138号など主要道路が交差する交通の要所にあるため、その地理的優位性・交通利便性の強みを活かしながら、恵まれた観光

誘客促進

東山旧岸邸



御殿場プレミアム・アウトレット



秩父宮記念公園



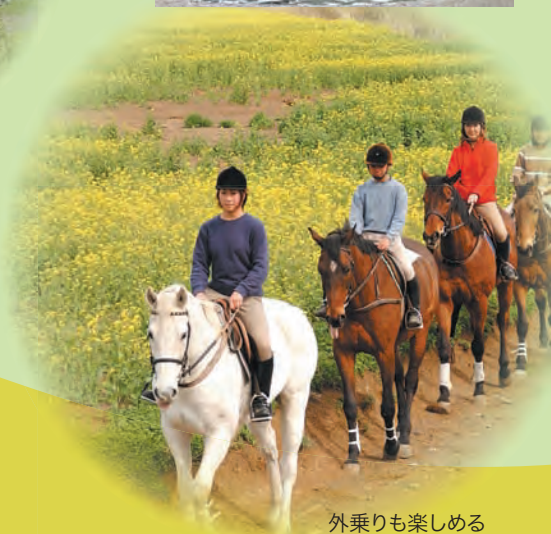
東山湖



こてんば市
温泉会館



乙女森林公園キャンプ場



外乗りも楽しめる
乗馬クラブ



御殿場高原ビール



御殿場高原時之栖



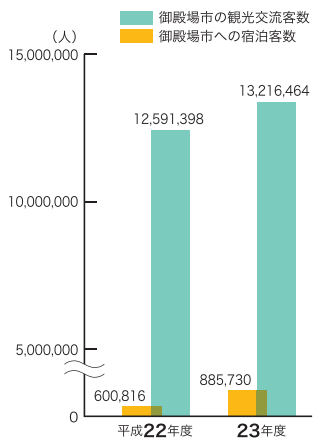
乙女駐車場



平和公園

R138

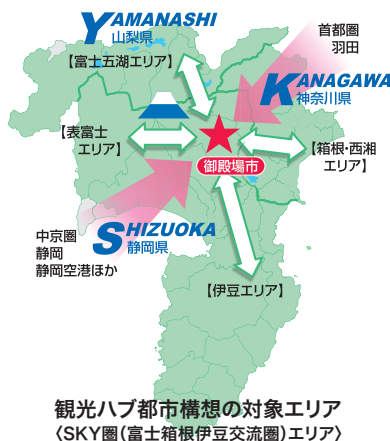
箱根・西湘エリア



本市の観光交流人口は、箱根・富士五湖等の全国的に有名な観光エリアに隣接し、また、御殿場プレミアム・アウトレット、御殿場高原ビル等の大型集客施設があり順調に増加しています。現在、県内で静岡市に次いで、浜松市と並ぶ規模となっています。

今後も、周辺の交通インフラの整備が進むことから、こうした時期をとらえた取組により、国内外からの観光交流客の一層の増加を実現することが期待されています。

観光に関する状況



資源を活用した魅力の創出により、本市を訪れた観光客が周辺地域へ足をのぼす際の出発地、あるいは中継地、若しくは周辺地域を訪問した後の目的地として、必ず本市に立寄って観光していただける都市を目指しています。



観光ハブ都市づくりの 取り組みの方向性

市内 通過型観光から

滞留型観光への転換

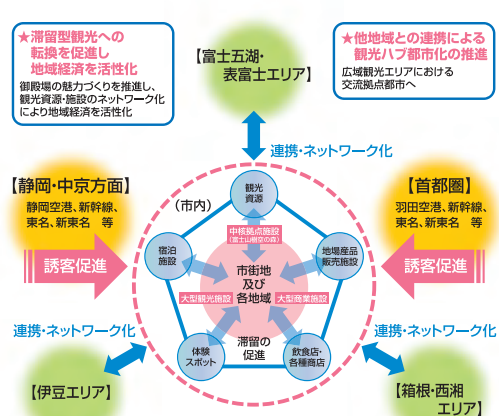
く御殿場リゾート富士の郷づくりく

① 既存の観光資源の活用及び
ネットワーク化

富士山樹空の森をはじめとする観光資源のネットワーク形成や、既存の観光資源を活かした各種の体験型観光により、観光交流客の回遊を推進します。

② 新たな観光資源の発掘と磨き上げ

恵まれた自然や各種産業など、潜在的な観光資源（観光資源となり得る地域資源）を十分に活かし、関係者の連携により、観光客に提供可能な形として観光商品化します。また、新たな地域ブランド商品の開発を図ります。



【基本政策】

○地域ブランド商品の育成・新たな創出
食をはじめとする地場産品・ブランド商品の育成・開発



○御殿場の魅力づくりのための新たな
観光商品・体験型観光のメニューづくり
分野ごとの体験型観光及びその連携による
魅力向上

○おもてなしの充実・滞在環境の整備
地元食材による料理、くつろぎ、周辺の観
光情報の効果的な提供など、宿泊施設や休
憩所のあり方の検討

○御殿場の観光情報の発信

HP等既存の各種媒体の活用及び戦略的な情
報発信のための新たな情報発信手法の検討

○観光資源をつなぐ

道路ネットワーク等の構築

国道138号・246号を主軸とした道路
ネットワーク構築及び基幹道路沿線での観
光情報の発信拠点整備の検討

広域 広域連携の強化

富士箱根伊豆交流圏(SKY圏)を
はじめとした連携の推進

他市町村との連携をさらに強化し、誘客
を共同で推進、また、市民の相互交流を推
進し、各市町村が互いに恩恵を受けるよう
にします。

【基本政策】

○SKY圏エリアでの広域連携の強化

観光交流協定による各市町村の観光情報の
共有及び相互の情報発信、施設間ネット
ワーク化により、観光交流の活発化を図り
ます。また、外国人観光客の誘客を促進す
るため、観光情報の多言語表記の整備を推
進します。

推進体制及び手法

観光ハブ都市づくりの推進体制として、
民間（事業者・団体など）と行政がそれぞ
れの役割分担を踏まえ、連携・協働します。

また、民間の連携により戦略的に観光振
興を図るための取組として、①テーマ別によ
るプロジェクトの推進②プロジェクトの連携
を図るための連絡調整会議を設置しています。



宿泊施設

体験スポット

御殿場
市街地及び
各地域

GOTEMBA

飲食店各種商店

人と人をつなげる おもてなしのこころ



子どもを育むまちづくり を目指して





子どもが等しく、心身ともに健やかに育つよう、子育て家庭への支援の充実を図っています。

子育て支援の充実

市民交流センターふじざくらにある子ども家庭センターでは、子育て支援の中核施設として、未就学児とその保護者に遊びの場を提供し、気軽に子育てに関する相談ができる体制を整えています。また、すべての保育園・幼稚園においても、地域と連携し相談・交流事業を提供しています。

また、ファミリー・サポート・センターの制度の周知を図るとともに、会員を募集し、事業の充実を図っています。

放課後児童健全育成事業は施設の整備を図るとともに、運営団体の支援を行っています。

情緒あふれる子育ての充実

読書を通して情緒あふれる子育てを行うため、6カ月児健康診査の受診者を対象にブックスタート事業を実施して、絵本を介した親と子のふれあいの大切さを啓発するとともに、読み聞かせボランティアが各幼稚園や保育園、小・中学校で読み聞かせを行うなど、子ども読書活動を推進しています。

保育サービスの充実

増大する保育需要に因應するため、法人による認可保育所の増設とともに、保育園の耐震補強を行い、安全な施設の整備を図っています。

また、延長保育、一時預り保育、病児・病後児保育、障害児保育を推進するとともに、待機児童ゼロを目指し、保育サービスの充実に努めています。

少子化対策の充実

少子化対策として、高校3年生相当年齢までの子ども医療費の助成、不妊治療費の助成、妊婦健康診査事業の充実等に取り組んでいます。



災害に強いまちづくり を目指して——





東日本大震災などの教訓・課題などを踏まえ、地震や風水害を始めとする様々な危機事象から市民の生命、財産を守ることができる「災害に強いまちづくり」を目指し、防災危機管理体制の強化を図っています

防災対策の推進

想定される東海地震や、富士山噴火など、あらゆる災害から市民の生命、財産を守る「災害に強いまちづくり」を目指し、「地域防災計画」に基づき、地域との協働・連携を推進し、市民の防災意識の高揚や災害時の体制強化に努めています。

特に、自主防災組織の活性化を図るため、地域防災訓練など、訓練の充実を図るとともに、地域防災のリーダーとなる人材を育成・出前講座による防災教育を実施し、地域の防災力の強化を図っています。

また、災害時に必要となる食料・毛布・簡易トイレなどの備蓄を進めるとともに、市指定の避難所の防災用資機材を逐次整備し、また、防災行政無線のデジタル化事業など情報伝達手段の強化を図っています。

さらに、地震発生時における家庭内の安全確保のため、家具などの転倒防止を促進するとともに、国・県と連携して耐震診断やブロック塀の改善及び木造住宅耐震補強等の助成事業を推進しています。

学校校舎を始めとした公共施設の耐震補強事業においても「公共建築物耐震化実施計画」に基づき、順次取り組んでいます。

消防・救急体制の充実

消防職員の適正配置及び地域防災の要である消防団員の確保、並びに活動の活性化を図り、併せて消防車両、防火水槽などを計画的に整備しています。

更に、消防緊急通信指令システムによる災害発生地点の早期把握に努め、迅速な対応による被害の軽減を図っています。





すこやかに育つ子どもたち Children growing soundly

富士山のように 大きな心を持つ人になろう

基本目標

①

教育・文化

富士山のように雄大で、心豊かな人づくりを目標に、すべての市民が生きがいを持って、社会に積極的にかかわることができる環境を整備し、健全で潤いのある社会の形成を目指します。

■魅力ある学校教育の推進

魅力ある学びづくりを充実させるため、幼稚園、小学校、中学校の連携をより一層推進しています。

いじめ問題や不登校の児童・生徒の解消を図るため、「市教育相談員」や「小学校教育相談員」及び「中学校心の教室相談員」を学校や家庭に派遣し、児童・生徒や保護者からの相談に対応しています。また、学校評価を通して、学校運営の見直し改善を進めています。

■生涯学習の推進

学習活動を通して市民が心豊かな活力ある生活と、生き生きと充実した人生を送ることができるよう、市民の様々な学習要求に応えられる体制を整えています。学習活動の支援を推進し、学習成果を地域社会の発展やボランティア活動、市民協働事業に生かせるよう支援体制の充実を図っています。

■青少年の健全育成

青少年教育活動の充実を図りつつ、補導事業や青少年の悩みに応える「はればれ相談」を実施し、青少年の非行防止と健全な育成を図っています。

■地域づくりの促進

豊かな地域づくりのため、地域文化の保護・伝承・紹介を行うとともに、地域コミュニティの活性化を推進するため、地域づくりのための学習講座などを開催し、地域の諸課題に取り組むための人材育成に努めています。



ごてんば市民芸術祭
Gotemba City Citizens Arts Festival



生涯学習のつどい ごてんばDONDON
Continuing Education at
Gotemba DONDON Festival

EDUCATION AND CULTURE

Efforts for human development targeted for grandeur and good will as symbolized by Mt. Fuji will be advanced in all fields. Gotemba City strives to build a healthy and beneficial society by improving the environment where all the citizens will find their life worthwhile and be able to take an active part in the community.



静岡県市町
対抗駅伝競走大会
Shizuoka
Prefecture Inter-
City Long Distance
Relay Race



国際交流フェア
International Cultural
Exchange Fair

図書館まつり
Book Festival
at the City
Library



ごてんばこしひかりの
学校給食を食べる会
Committee to promote
Gotemba Koshihikari
Rice to be a part of
school lunch menu
regularly

■ スポーツの振興

「市民ひとりスポーツ」の実現を目指し、行政と関係団体が連携を図り、いつでも、どこでも、誰もが気軽にライフステージに応じてスポーツに親しみ、楽しむことができるよう、幅広い多様なスポーツの普及の促進、機会の提供を行うとともに、スポーツ環境の整備に努めています。

■ 芸術文化の振興

「御殿場市芸術文化振興基本方針」に基づき、市民会館を拠点として、さまざまな芸術文化事業を開催し、内容を充実させるとともに、幅広い世代の市民が利用し積極的に芸術文化活動に参加できる機会と、発表の場の提供に努めています。

■ 国際交流の推進

国際交流協会と協調して、国際化推進事業を推進しています。民間による都市間交流への支援、在住外国人と市民がふれあう各種イベントなどを通して、国際感覚豊かなまちづくり・人づくりに努めています。

虫歯ゼロをめざす「歯の衛生大会」
“Oral Health Convention” to promote oral hygiene and no tooth decay

健康で安全・安心な 生活を築こう

基本目標

②

健康・福祉

市民一人ひとりの健康づくり、生涯を安心して暮らせる福祉や社会保障の充実、防犯・防災・交通安全を始めとする地域連携による安全な暮らしの確保など、長寿健康社会の実現を目指します。

健康福祉

■心身の健康づくり

検診事業を充実させるとともに、健康づくりのための各種教室の開催や健康相談、栄養相談などにより市民の健康管理、健康増進を支援しています。

また、「御殿場市食育推進計画」に基づき、市民や地域と共に地産地消や次代を担う子どもたちへの食育の推進に努めています。

■保健衛生の充実

「御殿場市第4次健康増進計画」に基づき、母子保健、成人保健、歯科口腔保健など市民の健康保持・増進に努めています。また保健所等と連携し、感染症予防に関する正しい知識の普及に努めています。

■医療の充実

救急医療センターは、休日・夜間の一次救急医療施設として、第二次、第三次救急医療機関との連携を図り、センターの使命達成に努めています。

■地域福祉の充実

市民一人ひとりが、主体となって、誰もが安心して生き生きと暮らせるまちづくりを目指し、災害時に一人暮らしの高齢者や障がい者などの要援護者の安全が確保できるようなシステムの確立を目指しています。



100歳以上高齢者訪問
Visiting senior citizens
over 100 years old



**食育推進キャラクター
「ごてんばこめこ」誕生**
Creation of dietary
education promoting
character; "KOMEKO"



市老人クラブ連合会スポーツ大会
Senior Citizens Coalition Sports Festival



交通安全運動
Traffic Safety activities

■ 高齢者福祉の充実

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自立した日常生活を営むことができるよう、高齢者福祉サービスの提供をはじめ各種施策の推進に努めています。

■ 障害者福祉の充実

障害を持たれる方の地域生活における支援体制の確立をはじめとした、障害者福祉施策全体の推進を図っています。

■ 社会保障

健康保険制度の健全な運営

国民健康保険制度は、特定健診などの保健事業を通して疾病予防を推進し、医療費の適正化に努めるとともに、収納率の向上を図るなど、国保財政の健全化に努めています。

また、後期高齢者医療制度については、静岡県後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者が安心して医療が受けられるよう適正な運用に努めています。

介護保険制度の充実

要支援・要介護者に適切な介護保険サービスを提供するとともに、介護予防に重点をおいた事業を推進し、円滑な運営に努めています。

■ 安全な生活

交通安全対策の推進

幼児から高齢者まで各世代に対して、交通安全意識の向上を目指しています。また、事故発生の割合が高い交差点や通学路の安全性の向上を図っています。

防犯体制の充実

自主的な防犯活動が市内全域で展開され、子どもの見守りなどが行われています。今後も警察など関係機関と連携し、市民の防犯意識を高めます。

消費者の意識啓発

消費者トラブルが増加し、相談内容が複雑・多様化している中、相談体制・情報提供の充実を図り、被害の拡大防止に努めています。



つながる道と道「新橋深沢線開通」 A new street "Niihashi - Fukasawa Line" opened

人と自然に 優しいまちをつくろう

基本目標

③

都市基盤・環境

環境

環境保全

本市の持つ豊かな自然環境との共生を図るとともに、循環型社会の形成に向け、「御殿場市環境基本計画」に掲げた施策を推進しています。環境教育事業の推進をはじめ、環境に対する監視・測定事業などを実施し、良好な環境の保全に努めています。

適切な生活排水処理

生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るため、公共下水道の管渠整備を順次進めています。

また、公共下水道以外にも合併処理浄化槽の設置促進と公設浄化槽の事業化を推進しています。

水資源の保全と利用

限られた水資源を大切に利用していくため、地下水の保全や適正な利用に努めています。

水道事業は、経年管の布設替工事等を計画的に実施するとともに、設備の更新と管理の効率化を推進し、一層の経費削減により、安定的な経営に努めています。

資源循環型社会の構築

「一般廃棄物処理基本計画」に基づき、ごみの減量、再資源化に向けて、その適切な処理及び分別の更なる徹底を図るとともに、市民、事業者、行政それぞれの役割分担の明確化と相互協力、連携の強化により、ごみの発生を抑制し、資源が循環する社会の構築に努めています。

世界に誇れる御殿場の自然を市民共有の財産として保全しつつ、快適で利便性の高い都市基盤整備を進めます。また、廃棄物の縮減や資源の効率的利用で、人と自然に優しい社会の実現を目指します。



第4回 優秀賞 森の隠れカフェ「とらや工房」
The fourth Ecological Competition Award of Excellence - Hide-out café in the forest "Toraya Kobo"



第3回 優秀賞 仁杉の水田
The Third Ecological Competition Award of Excellence - Rice field in Hitosugi



第2回 最優秀賞「矢崎総業 Y-TOWN 御殿場」
The Second Ecological Competition Award Grand Prix - "Yazaki Corporation Y-TOWN Gotemba"

静岡県景観賞受賞地区
Award-winning landscape area,
Shizuoka Prefecture

CITY INFRASTRUCTURE, ENVIRONMENT

While maintaining a world-class quality of nature that we boast and consider as precious asset, we also aim toward developing convenient yet comfortable infrastructure of the city. We also aim to realize a society that is Eco social-friendly by reducing general waste and effectively utilizing limited resources.



魚の放流
Releasing of fish



夏の節電対策
「緑のカーテン
コンテスト」
Summer Electricity
Conservation Measure -
"Green Curtain
Competition"



新東名高速道路
New Tomei
Expressway



御殿場市・小山町広域行政組合が整備を進める新たなごみ焼却施設 (完成イメージ)
As-built drawing of the Gotemba -
Oyama area's newly upgraded
incinerator (currently under
renovation)

都市基盤

まちづくりの基本方針である「都市計画マスタープラン」に基づき、地域活力の創出と安全・安心のまちづくりを目標として各施策を推進しています。

■ 良好な景観・街並みの整備

本市の景観のシンボルである富士山や箱根山系の自然と調和する良好な街並み環境を保全・創出するため、平成25年度を目標に、景観計画の策定と景観条例の制定に向け取り組んでいます。

■ 公園・緑地の整備

市民生活にゆとりと潤いを与えるため、公園・緑地の整備に努めるとともに、花いっぱいまちづくり事業や富士山桜いっぱいまちづくり事業等を通して緑と花であふれるまちづくりを推進します。

■ 中心市街地の整備

中心市街地であるJR御殿場駅周辺の活性化のため、箱根乙女口広場や御殿場駅周辺道路の整備を進めています。

■ 道路網の整備

新東名高速道路は、御殿場ジャンクション以西が平成24年4月から供用開始され、以東は平成32年度の供用開始へ向けて事業が進められています。

市内仁杉・柴怒田地先に（仮称）御殿場インターチェンジが新設されることから、関係機関と連携して、関連アクセス道路の整備を進めていきます。

幹線市道の整備は、平成23年度に策定した「御殿場市道路整備10力年計画」に基づき進めるとともに、生活道路など市民生活に必要な道路を順次整備しています。

■ 地域公共交通の整備

バス交通をはじめとする地域公共交通について、生活交通の確保や利便性の向上を図るため、地域公共交通協議会を中心に、地域の実情に合った公共交通の実現を目指しています。

優良な企業が進出する「富士御殿場工業団地」
"Fuji-Gotemba industrial complex" where an excellent company goes into

豊かで**活力ある**産業を 育てよう

基本目標

④

産業

社会変化に対応する企業への構造転換や地場産業の高度化など、競争力のある企業の育成を進めます。恵まれた集客環境を生かして産業全体の活性化を図り、雇用の増大と地域経済の向上を目指します。

農林業

農業

農業を取り巻く環境や産地間競争はますます激しさを増し、農畜産物の生産と販路の開拓が求められています。

農地の流動化を促進するとともに、本市の基幹作物である水稲の更なるブランド化を推進するため、関係機関などと連携し「ごてんばこしひかり」の付加価値を高めるために取り組んでいます。

ほ場整備は、農地の集積を図り、効率的な農業経営を促進するため、市内各地区で推進するとともに、農業用排水路などの農業環境整備を進めています。

また、近年問題となっている鳥獣被害の防止に取り組んでいます。

林業

箱根山系を中心に間伐対策や林道整備に取り組む、水源涵養機能を発揮できる森林を目指しています。また、森林の計画的な整備・保全を推進し、森林資源を有効活用した地産地消に努めます。



ごてんば特産「水かけ菜」

Specialized products made in Gotemba "Mizukakena"



御殿場みくりやそば
あなたのそばで振舞隊

Gotemba local soba (buckweat) noodle
promotion group, Furumai Tai



こだわり推奨品
Locally endorsed
products



ほ場整備前

Agricultural field (Before reconstruction)



ほ場整備後

Agricultural field (After reconstruction)

商工業

景気対策

緊急経済対策事業として、平成22年度から住宅建設等助成事業を実施するなど、市内経済の活性化を図っています。

商業

商業活性化のため、商店街等における個々の商店の魅力の創出に向けた新たな取り組みや、関係機関が企画するイベント等を通じ、市内の商業振興が図られるよう支援しています。

その中でも、「御殿場こだわり推奨品」など、本市の魅力ある地場産品をPRし、地域経済の活性化を図っています。特に、地元のおもてなし、振る舞い料理として親しまれてきた「みくりやそば」を「御殿場みくりやそば あなたのそばで振舞隊」とともに、ご当地グルメとして積極的にPRしています。

工業

豊かな自然環境と交通アクセスの優位性を生かしながら、21世紀の産業構造に見合う工業基盤の整備や、地場産業の高度化及び融合化、ビジネスマッチングなどを促進しています。

企業誘致については、地域産業立地促進奨励金制度を積極的に活用し、製造業など優良企業の誘致促進を図っています。

これら商工振興事業を通して、雇用の場の確保を図り、地域経済の活性化につなげています。

就労のための能力向上と福利厚生充実

中小企業従事者への福利厚生の充実と、勤労者や就業を希望する人の技能向上等人材の育成を図るため、駿東地域職業訓練センターの活用や駿東勤労者福祉サービスセンターの支援を行っています。

御殿場市 総合計画 GOTEMBA CITY COMPREHENSIVE PLAN 2001~2015

ADMINISTRATION

We promote an open-door policy in the management of municipal government through promoting active participation of citizens, equal participation of genders and protection of citizens' rights. Gotemba will be a city that leads the new century offering attractive and invigorating projects.

基本目標

⑤

行政

市民参画や男女共同参画の推進、市民の権利擁護などを通して、開かれた行政運営を推進します。また、新世紀の出発期にふさわしい事業を展開し、明るく元気の出る御殿場を目指します。

■市民参画と協働の推進

懇話会やパブリックコメント制度「みんなの声を活かす意見公募手続」等の方法により、市民の声を市政に反映させるとともに、各種審議会等の附属機関への市民参画の拡充を推進しています。

また、「市民協働型まちづくり推進指針」に基づき、市民と行政双方が、よきパートナーとして協力しながら、市民協働によるまちづくりを推進しています。

■情報公開の充実による透明性の高い行政運営

広報紙やインターネットなどによる情報発信や情報公開の充実を図り、透明性の高い開かれた行政運営に努めています。

■男女共同参画の推進

御殿場市男女共同参画推進条例、レインボープラン、実施計画に基づき計画的な事業実施に努めています。

■行政改革の推進

「御殿場型NPM」を機能させ、効率的な行政経営の確立を目指しています。また、透明性の高い市政運営、職員の意識改革、事業の効率化等を図っています。事業評価制度は、業績測定指標及び数値目標により事業の進捗状況を管理し、実施・評価・改善を連携させるとともに、事業仕分けの方向性や市民の声を反映させるなど、効率的・効果的な制度の運営に努めています。

明るく元気の出る御殿場をつくらう



女性と市長の懇談会
Women and Mayor's Conference



元気わくわくごてんばフェスタ
Genki Waku Waku Gotemba Festival (Exciting and Invigorating Gotemba Festival)



市長と語るミニ懇談会
Meeting with Mayor



市民活動支援センター集会での活動の様子
State of the activity at the civic activity support center meeting

財産区



原里財産区（友愛パーク・朝日）
Harasato Zaisan Ku (Yuai Park / Asahi)



御殿場財産区（東山旧岸邸）
Gotemba Zaisan Ku (Former Kishi Residence in Higashiyama)



印野財産区（樹空の森パークゴルフ場）
Inno Zaisan Ku (Juku Forest Park Golf Course)



玉穂財産区（桜公園）
Tamaho Zaisan Ku (Sakura Park)



高根財産区（高根中郷館）
Takane Zaisan Ku (Takane Nakago Kan - Takane Public Hall)

合併に伴い旧町村に設置された 特別地方公共団体

財産区は、地方自治法に規定された特別地方公共団体で、本市の誕生とともに、旧富士岡村を除く5つの旧町村に財産区が設置され、市との一体性を保ちながら運営されています。財産区の財産は東富士演習場に多くあり、国に貸し付けした賃貸借料が主な収入源となっています。この収入は、地域住民の福祉の増進に活用することを目的に、市へ繰り入れられ、地域の道路や学校など多くの公共施設の整備などに広く活用されています。

Zaisan Ku: Property ward - Specially designated local public entity

Zaisan Ku is a specially designated public entity defined by a local government. Upon Gotemba's establishment as a city, Zaisan Ku were designated throughout the five former villages with the exception of former Fujioka village. Its management is under the mutual jurisdiction of the city and the entity.

Many of the entity's properties are located within the Higashi Fuji Exercise Area, thus the property rental fees to the National Government are the main source of income. Such income is utilized with the purpose of enriching the welfare of local citizens. The income is transferred into the city's general account and maintenance of city streets, local public schools and other public facilities are funded by such account.

演習場



東富士演習場全景 East Fuji Maneuver Area

MANEUVER AREA

One-third of Gotemba City is used as the maneuver area

The East Fuji Maneuver Area, a vast area of 8,800 hectares, spans parts of Gotemba City, Susono City, and Oyama Town. Approximate one-third of Gotemba City is used as the maneuver area.

市域の3分の1を占める 東富士演習場

約8千8百ヘクタールの広さを有する東富士演習場は、御殿場市と裾野市、小山町にまたがり、本市においては、市域の約3分の1が演習場として使用されています。

■市民生活との関わり

演習場の約6割が民公有地であることや、市内に滝ヶ原、板妻、駒門の3つの駐屯地があることなどから、市民生活と演習場は広い範囲で関わりを持っています。

■民生安定事業の推進

演習場が存在することにより生まれる、市民生活への障害を緩和するために、国の補助金等を活用して公共施設の整備を推進しています。

■地元権利者の擁護

土地・入会・水利権など地元諸権利の擁護を図るとともに、市民の身体、生命、財産の安全を守るための諸施策を関係機関に働きかけしています。



総合火力演習 Fuji Comprehensive fire power exercise

議会

Assembly



議員定数

23人

本会議

定例会 4回 (3月、6月、9月、12月)

臨時会 (必要に応じて随時開催)

常任委員会

総務委員会 定数 7人

経済文教委員会 定数 8人

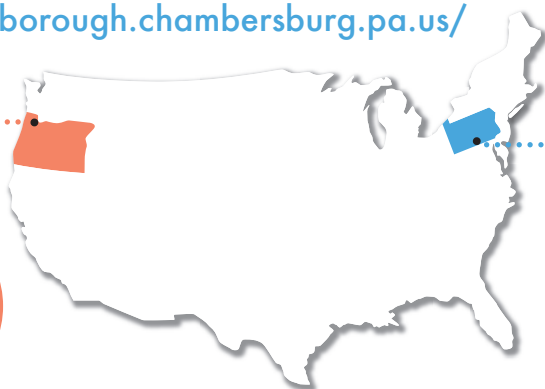
福祉環境委員会 定数 8人

広報委員会 定数 9人

チェンバースバーグ市はワシントンD.C.の北西約180kmに位置する田園が広がるまちです。1920年代に御殿場市の根上津奈子さんがチェンバースバーグのウィルソン大学で学んだことを機に、姉妹都市提携が結ばれました。

チェンバースバーグ市は美しい自然と南北戦争を背景とした多くの歴史に恵まれています。市の中心地には、まちなみのシンボルでもある美しい噴水、メモリアルファウンテンがあります。

<http://borough.chambersburg.pa.us/>



姉妹都市提携

1987年
10月22日

ビーバートン市
「アメリカ合衆国オレゴン州」

ビーバートン市の商工会長が、御殿場市を訪問したことをきっかけに1987年(昭和62年)に姉妹都市提携が結ばれました。

ビーバートン市はオレゴン州のワシントン郡にあります。ポートルランドの西南西15kmに位置し、ハイテク産業を中心に発展しています。富士山に似たフォッド山(3,424m)は南北に走るカスケード山脈の最高峰で、まちは、多くの緑に囲まれています。

<http://www.beavertonoregon.gov/>

チェンバースバーグ市
「アメリカ合衆国ペンシルベニア州」

姉妹都市提携

1960年
8月22日

姉妹
都市

Sister Cities

御殿場市は、アメリカ合衆国のチェンバースバーグ市、ビーバートン市との姉妹都市提携を結んでいます。



御殿場の歴史

家康の宿泊所「御殿」が御殿場の名として今に残る

御殿場の名は、元和二年（1616年）に徳川家康公が駿府から江戸に通行する際の宿泊所「御殿」を造ったと言われていることに由来します。

古代〜大正

西暦	元号	主なできごと
紀元前5000年		【縄文時代】御殿場の地に人が住み始める
701	大宝1	御殿場地方に横走駅が設置される
781	天応1	駿河国司、富士山の噴火を報告（噴火の記録としては最古）
1108	嘉承3	伊勢神宮の神主大中臣氏を給主とする大沼鮎沢 みづりや 御厨が成立する
1193	建久4	源頼朝、富士野・藍沢にて狩りを行う
1335	建武2	新田義貞と足利尊氏が箱根・竹之下で戦う（南北朝動乱開始）
1568	永禄11	北条氏、駿河侵入の武田氏と各地で戦う
1586	天正14	徳川家康、駿府に入り駿河国を領有する
1616	元和2	幕府代官・長野九左衛門清定が、土豪・芹沢将監に御殿の造営とその周辺に新町を建設することを命ずる
1633	寛永10	小田原城主となった稲葉正勝が御厨地方を支配
1638	寛永15	古沢村で6人の農民が小田原藩に年貢増徴反対を直訴する
1667	寛文7	江戸の商人大坂屋長右衛門が東山新田の開発を始める



馬力
(二の岡・井上不二雄氏提供)



宝永噴火の図
(山之尻・滝口文夫氏蔵)

昭和

西暦	元号	主なできごと
1932	昭和7	富士山頂に国営の気象観測所が設置される
1934	昭和9	丹那トンネル開通。国府津〜御殿場〜沼津間は御殿場線に改称
1936	昭和11	駒門に陸軍廠舎がつくられる
1945	昭和20	御殿場駅付近が爆撃される
1947	昭和22	米軍が東富士演習場で実弾射撃訓練を開始
1948	昭和23	新制御殿場高等学校が開校
1950	昭和25	農業会に替わる農業共同組合を設立
1953	昭和28	東富士演習場が米軍に接収される
1955	昭和30	日米合同委員会において米軍による演習場継続使用が決定
		御殿場町・富士岡村・原里村・玉穂村・印野村の合併により御殿場市制が施行される
		御殿場市消防団発足
		小田急電鉄が新宿〜御殿場間の運転を開始
		第1回市民体育祭開催
		米軍口ケット砲オネストジョンを東富士演習場から北富士演習場へ発射



吾妻神社境内にある「地名御殿場発祥の地」石碑

1707	宝永4	富士山が噴火する(宝永の大噴火)
1708	宝永5	小田原領の被害甚大のため村々が幕府領となり、伊奈半左衛門により復旧が始まる
1784	天明4	天明の大飢饉。年貢減免を要求する30力村の農民が大挙して小田原藩へ向かう
1837	天保8	二宮尊徳(金次郎)が鶴沢作右衛門とともに飢饉に苦しむ村々を回る(報徳仕法の始まり)
1868	明治1	駿東地区、小田原藩から徳川駿府藩へ領分替え神山仮役所を設置
1883	明治16	富士登山新道(富士山東表口)が開通
1889	明治22	東海道幹線鉄道、国府津〜静岡間が開通 東京〜静岡直通運転開始。御殿場駅開設
1896	明治29	御殿場地方六力町村、御厨町・富士岡村・原里村印野村組合村・玉穂村・高根村須走村組合村が誕生(町村制施行)
1898	明治31	東京湾要塞砲兵隊、滝ヶ原にて初の実弾演習
1902	明治35	御殿場馬車鉄道が御殿場駅〜御厨町御殿場間で開業
1908	明治41	御厨町ほか十力村組合立御殿場農業学校が開校
1909	明治42	滝ヶ原に陸軍廠舎がつくられる 板妻に陸軍廠舎がつくられる オーストリア人クラッツェルが富士山太郎坊でスキーを披露
1910	明治43	御殿場で一般電話が開通
1912	明治45	陸軍演習場を買収された印野村北畑地区の移転が完了する
1913	大正2	陸軍省と地元各村の間に「使用協定」が締結され、富士裾野陸軍演習場が常設される 乙女峠越え御殿場〜仙石原間の箱根国道開通 第1回富士登山競走が行われる(富士登山駅伝の始まり)
1914	大正3	御厨町が御殿場町に改称



昭和34年 第1次東富士演習場使用協定調印式



昭和30年 御殿場市合併調印式



東海道線時代の御殿場線
(御殿場・渡辺竹雄氏提供)

1956	昭和31	高根村を御殿場市に編入
1957	昭和32	小山町古沢区が御殿場市に編入 東富士演習場地域農民再建連盟が結成される 御殿場市商工会発足
1958	昭和33	市章を制定 米陸軍東富士演習場から撤退完了 市内で最初のゴルフ場が東山に完成
1959	昭和34	第1次東富士演習場使用協定締結 市宮火葬場を改築 印野御胎内植物園開園
1960	昭和35	国立中央青年の家開所(現 国立中央青少年交流の家) 陸上自衛隊が三廠舎(滝ヶ原・板妻・駒門)に駐屯 米国チェンバースバーク市と姉妹都市提携
1961	昭和36	有線放送電話開通
1962	昭和37	国鉄南御殿場駅開設
1963	昭和38	ボイススカウトのアジアジャンボリーを滝ヶ原で開催 御殿場農業協同組合発足 養護学校開校
1965	昭和40	県立御殿場南高等学校開校 消防本部・消防署発足
1966	昭和41	御殿場駅東口完成 英国BOAC機、富士山太郎坊に墜落。全市あげて救援活動
1967	昭和42	県立御殿場高等学校全国駅伝大会に県代表として出場 私立御殿場西高等学校開校
1968	昭和43	御殿場駅前大火。十六世帯被災 家庭ごみ無料収集開始 市の鳥(くろづぐみ)制定 御殿場線蒸気機関車さよなら運転 東富士演習場(キャンプ富士区域を除く)米軍より返還

昭和

西暦
元号

主なできごと

1969	昭和44	東名高速道路、御殿場インターチェンジ開通
1970	昭和45	第一学校給食センター完成
1972	昭和47	市役所新庁舎完成 第1回御殿場市民スポーツ祭開催 第1回御殿場市産業祭開催 第1回わらじ祭り開催
1973	昭和48	市の花(富士桜・市の木(けやき)制定 東富士ダム完成 手焙形土器が国重要文化財に指定 夏まつりに歩行者天国登場 市内全戸に有線放送開始 第1回老人スポーツ大会開催 御殿場スキー場リフト運転開始 富士登山マラソン復活第1回大会開催 市民会館完成 太平洋クラブマスターズ開催 駅南ガード開通 湯沢平公園オープン 富士山クリーン作戦開始 温泉会館オープン 斎場完成 市民憲章制定 市体育館オープン 市図書館萩原に移転 乙女森林公園キャンプ場オープン 救急医療センター完成 駒門工専への進出企業11社決定 衛生センター完成 保健センター完成



昭和62年 御殿場駅新駅舎完成



昭和47年 御殿場市役所庁舎完成



昭和44年 東名高速道路「御殿場IC」開通

平成

西暦
元号

主なできごと

1994	平成6	中央公園オープン 公共下水道供用開始 新消防庁舎完成 看護高等専修学校開校 第1回御殿場国際音楽祭開催
1995	平成7	御殿場地区広場「パレットてんば」オープン 秩父宮御別邸が市に遺贈される 静岡県総合防災訓練を御殿場市で実施 沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練の分散・実施を容認 御胎内温泉健康センターオープン 原里地区広場「友愛パーク・原里」オープン 御殿場中学校女子駅伝チーム初の全国優勝 ファミリー・サポート・センターが誕生 御殿場中学校女子駅伝チーム全国二連覇 御殿場・小山RDFセンターが稼動 玉穂地区屋内プール施設「ふれあいプール玉穂」オープン 御殿場中学校女子駅伝チーム全国三連覇 市立養護学校が県に移管 ごみ最終処分場が稼動 第三次御殿場市総合計画の基本構想が決定 深沢に御殿場プレミアム・アウトレットがオープン 二枚橋公園、富士岡公園がオープン EMCゴルフワールドカップ開催 サッカーワールドカップに出場するウルグアイ代表チームの事前キャンプ受け入れ 御殿場馬術競技場がオープン 第1回よさこい御殿場開催 第3回静岡県市町村対抗駅伝競走大会優勝
1996	平成8	
1997	平成9	
1998	平成10	
1999	平成11	
2000	平成12	
2001	平成13	
2002	平成14	

平成

1986	昭和61	シルバー人材センター発足 夏まつりに富士娘コンテスト登場 第1回富士山太鼓まつり開催
1987	昭和62	米国ビーバートン市と姉妹都市提携 御殿場駅新駅舎完成
1988	昭和63	国鉄が民営化し、JR御殿場線となる 駅前再開発事業「シティープラザC1」ビル完成 JR御殿場駅東西自由通路開通 国道246号バイパス全線開通

1989	平成1	東富士五湖道路開通 第1回御殿場市緑化フェア開催 駅前再開発事業「BE-ONE」ビル完成
1990	平成2	市営駅南駐車場完成 住宅地で不発弾が爆発
1991	平成3	静岡県で高校総体が行われ、御殿場市では剣道大会を開催
1992	平成4	御殿場西高校、春の選抜高校野球大会出場 市陸上競技場オープン
1993	平成5	高根ふれあい広場・中郷館オープン



平成21年 東山旧岸邸一般公開開始



平成22年 天皇皇后両陛下下行幸啓



平成23年 富士山樹空の森オープン



平成17年 市制施行50周年記念式典



平成15年 第58回国民体育大会
馬術競技会開催

2003	平成15	市役所庁舎別棟完成 秩父宮記念公園、永原公園、神場南公園がオープン 第58回国民体育大会秋季大会馬術競技会開催 静岡県・御殿場市・小山町総合防災訓練を実施 市制施行50周年記念式典開催 第6回静岡県市町村対抗駅伝競走大会優勝 市民の森「フォレスト乙女」完成 桜公園オープン
2004	平成16	ねりんピック静岡2006ゴルフ交流大会開催 市役所玉穂支所移転
2005	平成17	富士山宝永噴火300年各種記念事業の実施
2006	平成18	富士岡中学校女子駅伝部全国大会優勝 市の人口が9万人に達する
2007	平成19	バスポート申請・交付事務が県から市へ事務移管 市民交流センター「ふじざくら」オープン
2008	平成20	富士山ナンバ・富士山型ナンバ導入 国民文化祭・しずおか2009「富士山一人打ち太鼓まつり」・富士の恵み御殿場大祭会を開催
2009	平成21	東山旧岸邸の一般公開を開始
2010	平成22	天皇・皇后両陛下が国立駿河療養所と神山復生病院を訪問される 湯沢平公園のSLを御殿場駅前広場に移設
2011	平成23	富士岡中学校女子駅伝部全国大会優勝 3月11日東日本大震災、15日に市内で震度5弱の地震、計画停電により市民生活が混乱 富士山樹空の森（富士山交流センター）がオープン
2012	平成24	御殿場型事業仕分けを実施 御殿場みくりやそばあなたのそばで振舞隊発足 原里地区広場「友愛パーク・朝日」オープン 新東名高速道路御殿場ジャンクションから三ヶ日ジャンクション間が開通 御殿場わらじ祭りが13年ぶりに復活 富士山樹空の森パークゴルフ場オープン

位置・地勢・土地

位置・面積・範囲

市役所の所在地：御殿場市萩原483

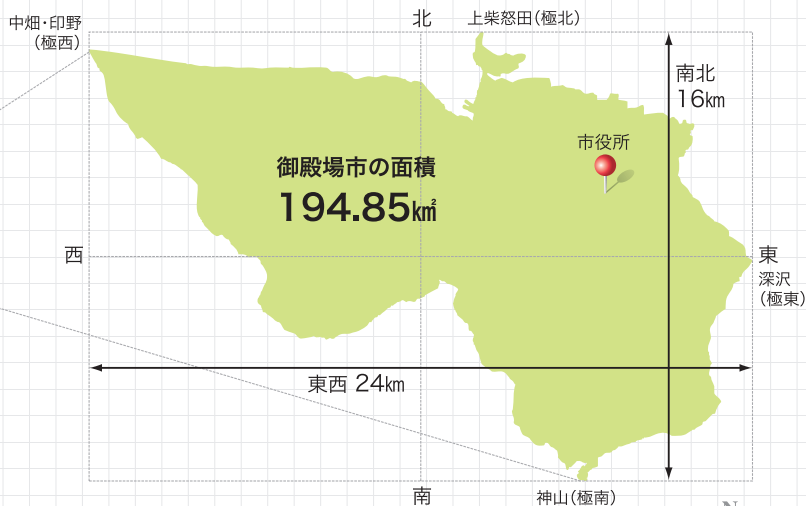
東経138°56'06

北緯 35°18'31

海拔459.8m



静岡県

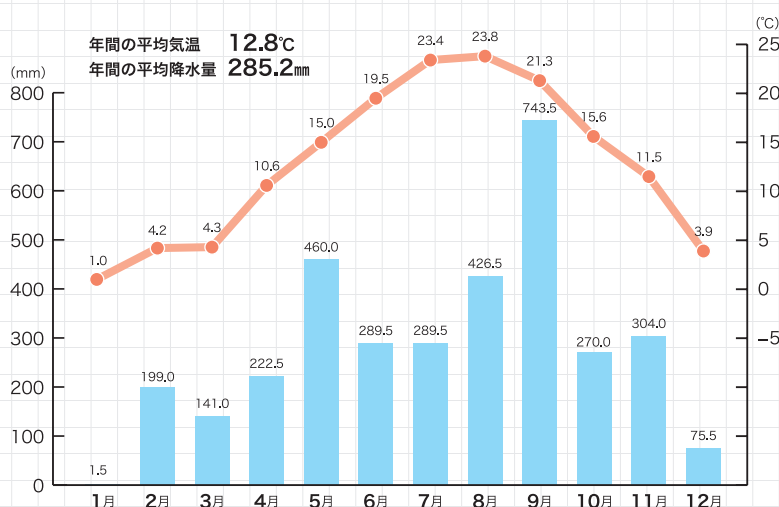


御殿場市の面積

194.85km²

平均気温と降水量

平成23年



年間の平均気温 12.8℃

年間の平均降水量 285.2mm

市域の変遷

昭和30年2月11日

御殿場町・富士岡村・原里村・玉穂村・
印野村を合併し、市制を施行

昭和31年1月1日

駿東郡高根村を編入

昭和32年9月1日

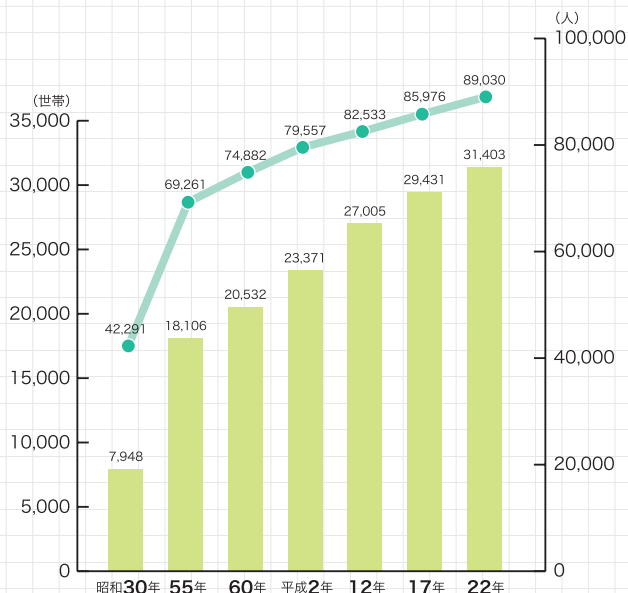
駿東郡小山町古沢区を編入

資料：静岡地方気象台

人口

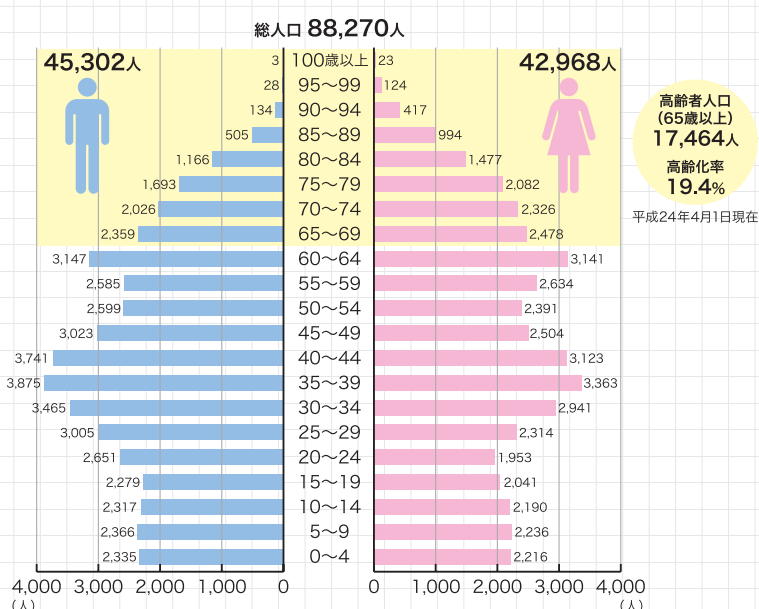
人口及び世帯数

毎年10月1日現在



年齢5歳階級別人口

平成24年10月31日現在



資料：行政課

数字で見る市民の暮らし

出生



1日に **2.37**人

総数 865人
(平成23年度)

死亡



1日に **2.04**人

総数 743人
(平成23年度)

転入



1日に **12.15**人

総数 4,433人
(平成23年度)

転出



1日に **11.54**人

総数 4,212人
(平成23年度)

ごみ収集量



1人1日当たり **757**g

可燃ごみ総量 24,192t
(平成23年度)

JR御殿場駅 乗車人数



1日 **4,545**人

総数 1,663,347人
(平成23年度)

東名御殿場I.C. 東名御殿場東I.C. 利用台数



入口 **4,708,305**台

出口 **4,809,054**台

総数 9,517,359台
(平成23年度)

富士山御殿場口 登下山者数



登山 **8,078**人

下山 **17,056**人

(平成23年度)

水道給水状況 上水道



給水戸数 **34,675**戸

給水人口 85,646人
年間総配水量 12,218,102m³
(平成23年度)

救急医療センター 利用者数



利用者 **16,179**人

(平成23年度)

公共下水道整備状況



普及率 **30.9**%

処理区域面積 541.3ha
処理区域人口 29,571人



接続率 **82.2**%

処理世帯数 10,915世帯
(平成24年4月1日現在)

都市公園



1人当たり **3.54**m²

31.14ha
(平成24年4月1日現在)

道路



舗装率 **58.43**%

市道 787,129m
(平成24年4月1日現在)

市営住宅保有状況



戸数 **897**戸

(平成24年4月1日現在)

医療施設の状況



医療施設 **153**

病院 8 診療所 86(うち歯科 38)
助産所 4 その他 55
(平成24年4月1日現在)

介護保険の状況



第1号被保険者数
(65歳以上) **17,248**人

介護保険認定者 2,266人
(平成24年4月1日現在)

特別会計決算額 4,029,505千円
(平成23年度)

後期高齢者 医療制度の状況



被保険者数 **8,516**人

(平成24年4月1日現在)

特別会計決算額 657,906千円
(平成23年度)

国民健康保険の状況



被保険者加入率 **23.3**%

被保険者数 21,000人

(平成24年4月1日現在)
特別会計決算額 7,214,232千円(平成23年度)



世帯加入率 **34.6**%

国保世帯数 12,076世帯

学校の状況



幼稚園 **1,531**人

10園(市立8、私立2)

小学校 **5,522**人

11校(市立11)



中学校 **2,586**人

6校(市立6)



高等学校 **2,131**人

3校(県立2、私立1)
(平成24年5月1日現在)



看護学校 **96**人

1校(私立1)



特別支援学校 **222**人

1校(県立1)

保育園の状況

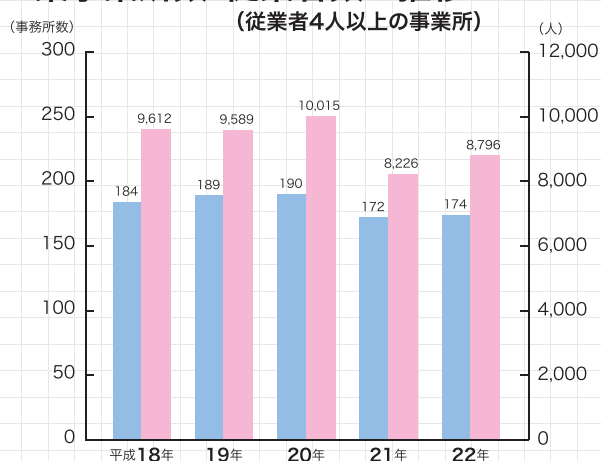


1,917人

施設数 17園(市立9、私立8)
(平成24年4月1日現在)

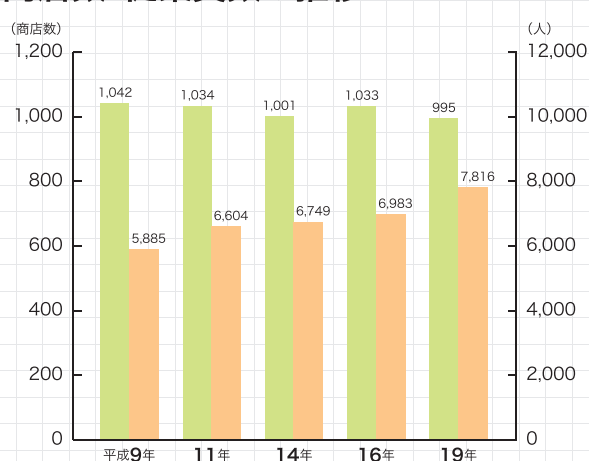
産 業

▶ 工業事業所数・従業者数の推移



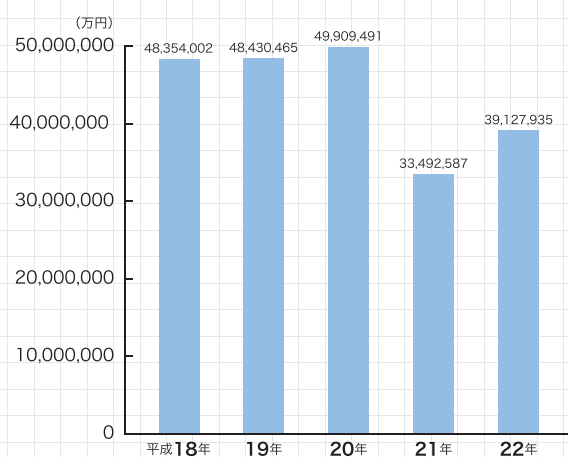
資料：経済産業省「工業統計調査」

▶ 商店数・従業員数の推移



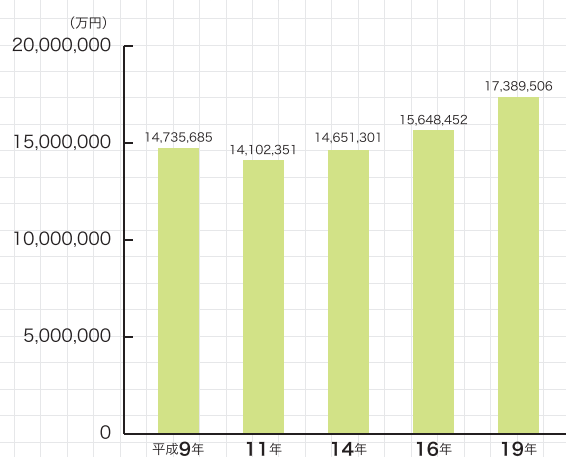
資料：経済産業省「商業統計調査」

▶ 製造品出荷額の推移 (従業者4人以上の事業所)



資料：経済産業省「工業統計調査」

▶ 年間商品販売額の推移



資料：経済産業省「商業統計調査」

▶ 産業別事業所数 (従業者4人以上の事業所)

産業分類	事業所数	産業分類	事業所数
総数	174	窯業・土石製品	8
食料品	22	鉄鋼業	1
飲料・飼料・たばこ	6	非鉄金属	8
繊維工業	3	金属製品	18
木材・木製品	8	はん用機械器具	4
家具・装備品	7	生産用機械器具	11
パルプ・紙・紙加工品	4	業務用機械器具	5
印刷・同関連産業	7	電子部品・デバイス	5
化学工業	4	電気機械器具	18
石油製品・石炭製品	1	情報通信機械器具	2
プラスチック製品	7	輸送用機械器具	15
ゴム製品	2	その他の製造品	8

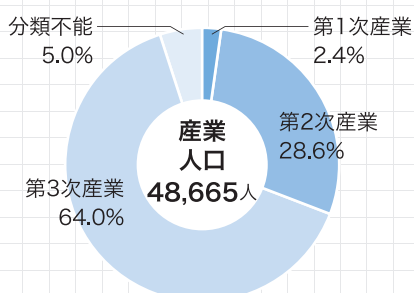
資料：経済産業省「工業統計調査」

▶ 産業別卸・小売店数
従業者数・年間商品販売額

産業分類	商店数 (事業所)	従業者数 (人)	年間商品販売額 (万円)
総数	995	7,816	17,389,506
一般卸売業	130	737	2,789,616
一般小売業	865	7,079	14,599,890
各種商品	3	164	225,022
織物・衣服・身回品	198	1,155	3,150,147
飲食料品	275	3,294	4,400,927
自動車・自転車	64	495	1,436,471
家具・じゅう器・機械器具	59	233	643,199
その他	266	1,738	4,744,124

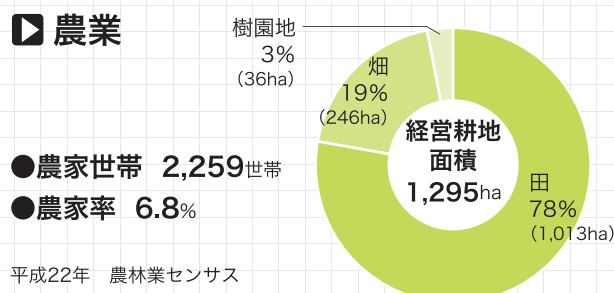
資料：経済産業省「商業統計調査」

▶ 産業別人口



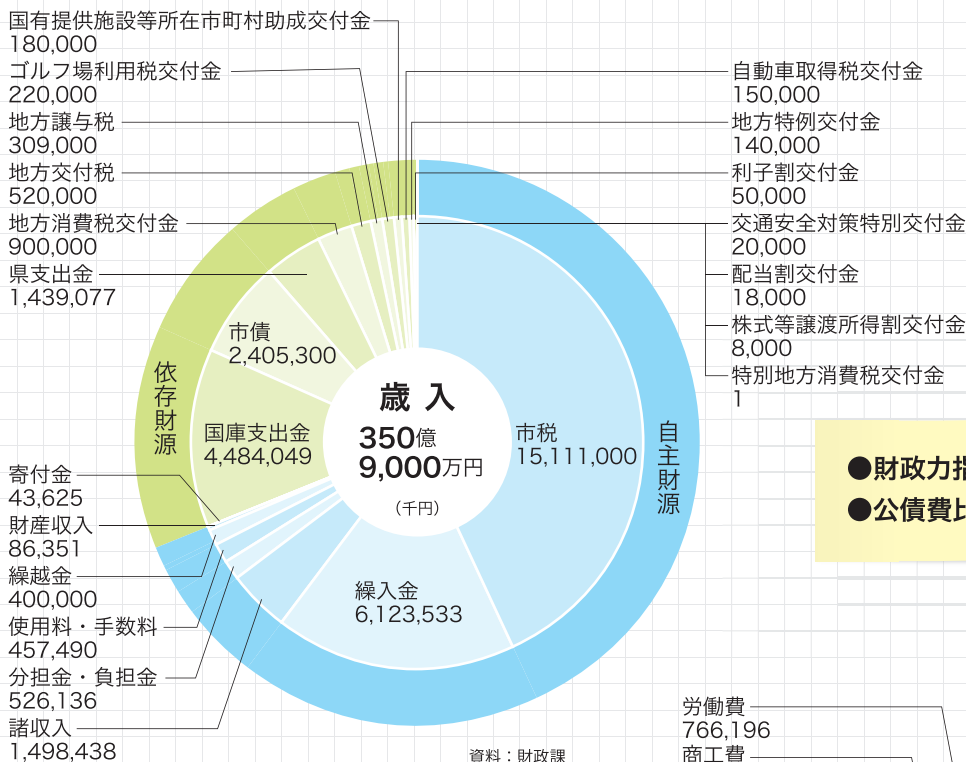
平成22年 国勢調査

▶ 農業



平成22年 農林業センサス

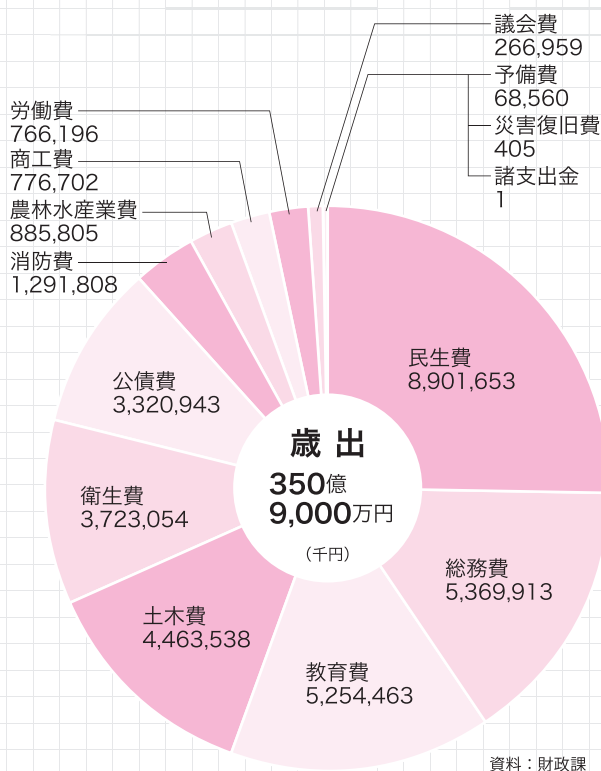
▶ 平成24年度 一般会計予算



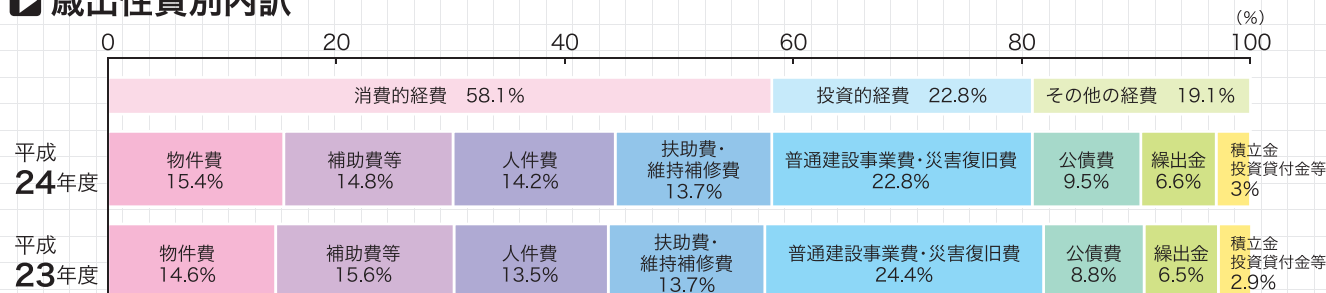
●財政力指数(平成21～23年度平均) 1.021
●公債費比率(平成23年度) 12.0

▶ 平成24年度 各種会計予算

会 計 名	予 算 額	前年度比
一 般 会 計	350億9,000万円	1.3%減
特 別 会 計		
国民健康保険会計	75億6,200万円	1.5%増
簡易水道会計	1億1,700万円	10.4%増
観光施設事業会計	2,000万円	25.9%減
救急医療センター会計	4億8,600万円	3.6%増
公共下水道事業会計	16億8,200万円	5.9%減
介護保険会計	43億8,800万円	8.5%増
農業集落排水事業会計	4,700万円	2.1%減
後期高齢者医療特別会計	7億5,000万円	10.3%増
企業会計		
上水道事業会計	21億8,062万円	0.8%増
工業用水道事業会計	7,596万円	3.9%増
合 計	523億9,858万円	0.0%



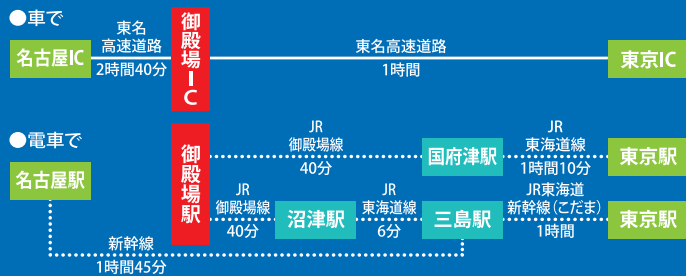
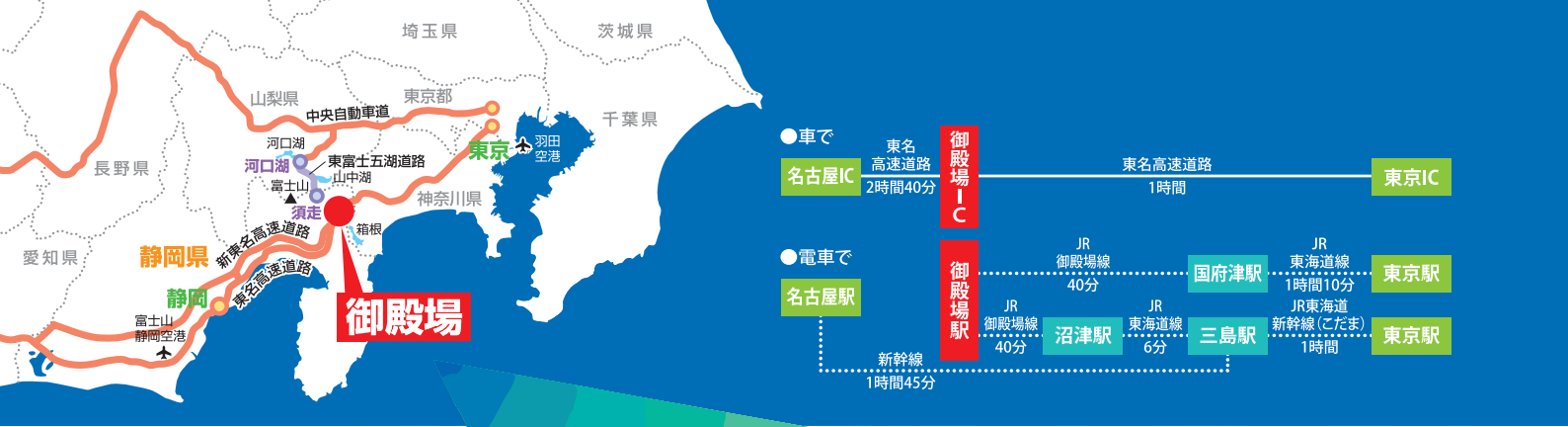
▶ 歳出性質別内訳



GOTEMBA CITY MAP

御殿場
シティマップ





富士山 Mt. Fuji
標高 3,776m

主要施設一覧 市外局番 0550

行政

1 市役所(代表)	萩原483	83-1212
2 BE-ONE 分室	新橋1990-10	82-4622
3 御殿場地域振興センター	萩原528-1	82-0912
4 富士岡支所	中山435-1	87-0976
5 原里支所	川島田1308-1	89-0160
6 玉穂支所	茱萸沢750	89-0161
7 印野支所	印野1710	89-0249
8 高根支所	塚原74-16	82-0245
9 駅前サービスセンター	新橋1938-6	83-8280

産業・観光

10 温泉会館	深沢2160-1	83-3303
11 乙女森林公園第1キャンプ場	深沢2190	82-2090
12 乙女森林公園第2キャンプ場	深沢2692-2	82-7870
13 富士山樹空の森	印野1380-15	80-3776
14 御胎内温泉健康センター	印野1380-25	88-4126
15 たくみの郷	印野1388-43	88-0330

保健・福祉

16 救急医療センター	西田中237-7	83-1111
17 保健センター	西田中237-7	82-1111
18 市民交流センター「ふじざくら」	萩原988-1	70-6800

運輸・通信・労働

19 駅南駐車場	新橋1848-6	84-0094
20 JR御殿場駅	新橋1898-3	050-3772-3910
21 駿東地域職業訓練センター	神山1191-2	87-3322

消防・警察

22 御殿場消防署	東田中1-19-11	82-7150
23 消防署富士岡分署	中山473-1	87-0119
24 消防署西分署	永塚916	88-0119
25 御殿場警察署	北久原439-2	84-0110

環境衛生

26 リサイクルセンター	神場1862-2	89-9639
27 一般廃棄物最終処分場	板妻834-16	88-4153
28 御殿場浄化センター	竈359	84-5111
29 御殿場・小山RDFセンター	小山町桑木445-1	76-6200
30 衛生センター	中丸19	82-1991
31 斎場公苑	萩原992-98	89-0949

教育・文化・スポーツ

32 図書館	萩原580-2	82-0391
33 市民会館	萩原183-1	83-8000
34 市体育館	茱萸沢670-1	89-5555
35 市東運動場	深沢295-1	89-5555
36 市南運動場	杉名沢664-1	89-5555
37 中央テニスコート	茱萸沢658-4	89-5555
38 陸上競技場	茱萸沢658-4	88-1428
39 馬術・スポーツセンター	仁杉1415-1	80-4150
40 パレットごてんば	東田中345-2	0120-801042
41 ふれあいプール玉穂	茱萸沢715-3	80-1515
42 友愛パーク・原里	永塚431-4	89-8890
43 友愛パーク・朝日	川島田245-1	——
44 東山旧岸邸	東山1082-1	83-0747
45 高根ふれあい広場中郷館	山之尻640	84-2001
46 高根西ふれあい広場友遊館	上小林662	80-5524

公園

47 秩父宮記念公園	東田中1507-7	82-5110
48 中央公園	萩原754-5	82-4236
49 桜公園	中畑2096-45	88-3199

国・県関係等の機関

50 国立中央青少年交流の家	中畑2092-5	89-2020
51 静岡県御殿場合同庁舎(代表)	竈1113	82-1222
52 御殿場郵便局	萩原537-1	82-2787
53 陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地	中畑2092-2	89-0711
54 陸上自衛隊板妻駐屯地	板妻40-1	89-1310
55 陸上自衛隊駒門駐屯地	駒門5-1	87-1212

御殿場市民憲章

わたくしたちは、朝に夕に麗峰富士を仰ぐ
御殿場市民であることに誇りをもち、
かおり高い文化都市への発展をめざして
この憲章を定めます。

— わたくしたちは、郷土を愛し、
さわやかな緑のまちをつくります。

— わたくしたちは、進んできまりを守り、
安全で住みよいまちをつくります。

— わたくしたちは、教養をたかめ、
文化のあふれるまちをつくります。

— わたくしたちは、たがいに助け合い、
明るいまちをつくります。

— わたくしたちは、心身をきたえ
仕事にはげみ、
豊かなまちをつくります。

(昭和55年6月13日制定)



市の木
「けやき」

富士山麓に自生し、建築材(大黒柱)として多く用いられます。
巨樹に成長するたくましい樹勢は、
発展していく市の姿を象徴するに
ふさわしいものです。(昭和47年制定)



市の花
「富士桜」

富士山麓に多く自生。樹高は
3~4メートルぐらいで、小さな花が
木いっぱい咲き、清純にして気品が
あります。春の御殿場を代表する
美しい花です。(昭和47年制定)



市の鳥
「くろつぐみ」

4月から5月にかけて、南方から
富士山麓に渡来する夏鳥です。
人家の近くの比較的低い林の中に住み
「キョロツ、キョロツ、コケキコキョキ」と
美しい声で鳴きます。(昭和43年制定)

御殿場市市歌

佐佐木信綱 作詩
信時 潔 作曲

一 大いなるかな 富士の心
豊かなるかな 富士の姿
日本の象徴 嶺めの山の
生命を永遠に 継ぐもの我ら
集いて成せば いよよ栄えん
栄えんいよよ わが御殿場市

二 湧くや真清水 野地に里に
花の広野 鳥は群れて
平和の楽園 観光都市が
新たに築く 産業文化
手をとりに共に 力協せむ
協せむ力 わが御殿場市

三 長尾の峰の みどり深く
清き谷川 絶えず流る
うつくし国立 青年の家
未来の空の 朝霧晴れて
歌声いざや 高く讀えむ
讃えむいざや わが御殿場市
(昭和35年8月22日制定)



市章

2013年 御殿場市勢要覧 (平成25年)

発行 ● 御殿場市 〒412-8601 静岡県御殿場市萩原483番地
TEL 0550(83)1212(代表)

発行日 ● 平成25年3月

編集 ● 御殿場市企画部秘書広報課

印刷 ● エビスLLC

ホームページ ● <http://city.gotemba.shizuoka.jp/>

Eメール ● koho@city.gotemba.shizuoka.jp

GOTEMBAの頭文字Gを図案化。
中央に富士山を、外枠に箱根外輪山を
表現し、美しい自然に囲まれた
御殿場の伸びゆく市勢と市民の協和を
表現しています。 (昭和32年制定)